平尾中学校だより

長島町立平尾中学校　平尾 5719 番

TEL・FAX　88―2013　令和４年１２月

校訓
前進

12月

令和４年を振り返り、新しい年につなげましょう！

松久保　謙太郎

師走 12 月、今年も残り少なくなりました。今月は２学期を締めくくる月であり、令和４年を締めくくる月でもあります。生徒のみなさんには、２学期の自分の歩みをしっかり振り返り、３学期そして新しい令和５年につなげてほしいと思います。

２学期を振り返ると学習面では各教科でタブレットを活用し自分で情報を収集し課題を解決したり、わからないところを他の人一緒に考えたり、学校以外の多様な人と関わったりしながら主体的に学習に取り組んでいました。

生活面では体育大会や文化祭などの学校行事や生徒会活動などを通して仲間と協力しながら取り組み、お互いの良さを認め合うことができたと思います。

保健・安全面では、体育の授業や部活動、朝・夕のランニングなどで体力つくりや健康の維持に努めることができたと思います。

子どもたちには、この１年の締めくくりとしてリフレクション(内省)をしてほしいと思います。年の初めと比べて、自分がどう変わったか、進歩できたか客観的に振り返ってほしいと思います。「身長が伸びた」など体の変化、「タブレットを使い勉強がわかるようになった」など学習面の変化、「友達と協力できた」「毎日のランニングで気力と体力がついた」など生活面での変化がたくさんあると思います。振り返ると、うまくいったことばかりでなく頑張ったけれどもできなかったこともあると思います。「逆境にこそ基本に忠実にやり続ける」これは、ワールドカップで決勝トーナメント進出を果たしたサッカー日本代表　森保 一監督の言葉です。人生においてうまくいかない状況は誰しも経験しますが、その時こそ自分の基本に立ち返り、むしろ自分に向き合うよい機会だと捉えて取り組んでほしいと思います。この機会に、じっくりと時間をかけて１年間を振り返ってみましょう。

保護者・地域のみなさまには２学期も教育活動、ＰＴＡ活動等への御理解と御協力をいただきありがとうございました。

冬休みは年末年始を迎えます。暦の上で新年となるだけでなく、自分を成長させるために目標と計画をたて、家族とゆっくり話をしてください。

新型コロナウイルス感染症は、拡大傾向にあります。今後も継続して感染対策をとって予防をお願いします。

新しい年が明るい話題の多い年であるように願います。

では、皆さん、よいお年をお迎えください。

いざという時のために～避難訓練～

１１月２５日に東分遣所より４名の隊員の方々にお越しいただき火災を想定した避難訓練を実施しました。教室からの避難経路の確認後は、今年度の新たな試みで代表生徒が防護服を着用し消防自動車からの放水活動を体験させていただいたり、消防車両に装備してある様々な救命道具の使い方も見学させていただいたりしました。これらの体験を通して防災に対しての意識を高めることができました。

子どもたちを支えるPTA

１２月６日は学校・学級ＰＴＡが行われました。また、１２月６日から８日まで、PTA のあいさつ運動も行われ、民生委員の方々も早朝より参加してくださり子どもたちの見守りに御協力をいただきました。参加してくださった皆様、お忙しい中ありがとうございました。

人権学習でより良い環境を

12 月 5 日からスタートした校内人権週間では、全校朝会で人権担当教諭から思いやりのある言葉の大切さについての講話を行いました。また、生徒会では、感謝の気持ちを綴るサンクスサンフラワーの取組を行い、生徒だけでなくさらに、保護者の方にもメッセージを書いていただきました。12 月 6 日の家庭教育学級では県人権同和対策課の人権推進員の常深透先生をお招きして命や絆などについて心に響く講演を賜りました。

１月の行事

【１月】

１０日（火）	始業式　学校生活アンケート 学習タイムスペシャル 生徒会生活リズム月間（～31 日）
１１日（水）	３年実力テスト(～12 日)　集金日(～13 日) ノー部活デー
１２日（木）	５時間授業
１３日（金）	福祉講話
１４日（土）	土曜授業
１７日（火）	１・２鹿児島学習定着度調査(～18 日)
１８日（水）	ノー部活デー
１９日（木）	Ｂ校時　学習タイム
２１日（土）	県中学校音楽コンクール「春の祭典」
２３日（月）	Ｂ校時　生徒会活動の日
２４日（火）	入学説明会
２５日（水）	学級生徒会　ノー部活デー
２６日（木）	Ｂ校時　専門部生徒会・中央委員会
３０日（月）	５時間授業
３１日（火）	２年立志のつどい

１月完全下校時刻　１７：３０

日本の伝統芸能を堪能

12 月 15 日は能楽師狂言方大蔵流の方々をお招きして、狂言体験を行いました。子どもたちは日本の伝統芸能に直接触れ、新たな感動を味わっていました。また、狂言がより分かるように体験活動やクイズなども企画してくださったので大いに盛り上がりました。最後に夢を持つことや努力することの大切さについて実体験を交えて話してくださいました。伝統芸能に対しての知識を得るだけでなく進路実現のヒントにもなり、充実した時間を過ごすことができました。